

法令や制度が苦手（好きでない）な方へ

月刊介護ニュースダイジェスト

「介護保険制度改正＆報酬改定速報！」

Appare Care Service Monthly Journal



2026

0729

Vol.63

7

天晴れ介護サービス
総合教育研究所（株）
代表取締役 榊原宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

1

マンスリージャーナルについて

■法令や制度が苦手（好きでない）な方へ

マンスリー・ジャーナル「月刊介護ニュースダイジェスト」

■信じてもらえないかもしれませんが……

私も法令や制度、そして最新情報については
苦手ですし、あまり好きでないですし、
正直、あまり興味もないのです（笑）

■ただ、そうも言ってもらえない立場なので……

毎週のメルマガに加えて、毎月話す機会を作ってしまう
法令や制度、最新情報に触れる機会を作ろうと思って始めたのが
このマンスリー・ジャーナルです

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

2

ご視聴にあたって

■ライブセミナー 21:00～21:45

ご意見/ご感想/ご質問などのコメントを是非入れて下さいませ

■セミナー後「アーカイブ動画」をご覧頂けます

「PDF資料」はアンケートにご回答頂いた方にお送りします

※リーダーズ・プログラム（年会費）、その他該当会員の方は
ライブラリより、動画・資料をご覧頂けます。

■これまでのセミナー動画＋資料は、

一般販売（レンタル）も行っています（500本超！）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

3

講師プロフィール

◎昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員

◎京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務

◎社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、
有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の実務に携わる

◎15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的に独立

◎著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間400回を超える

◎ブログ、facebook、毎朝5:55のライブ配信など毎日更新中

◎YouTubeや動画ライブラリーでは500本以上の動画を配信

◎介護と介護事業を守り、よくする！「事業経営&教育インフラ」

リーダーズ・プログラム（年会費制）主催

◎4児の父、趣味はクラシック音楽、温泉&サウナ、神社仏閣巡り

◎天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索



■日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師

■全国有料老人ホーム協会 研修委員 ■稲沢市 地域包括支援センター運営協議会委員

■7つの習慣®実践会 認定ファシリテーター

■出版実績：中央法規出版、日総研出版、ナツメ社、その他10冊以上

■平成20年第21回G Eヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞

■榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

4

介護と介護事業の両輪から その人らしい暮らしと人生を応援する



- facebook、ブログ、YouTubeライブ等を毎日更新、情報発信
- メルマガ（日刊:介護の名言、週刊:介護現場をよくする研究&活動通信）
- 公式LINEでも毎日情報発信をしております
- 以上の情報はHP（「天晴れ介護」で検索）より、特典たくさんあります！



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

5

天晴れ介護サービスの ミッション・ビジョン・バリュー（MVV）

■ ミッション（使命）

- ◎ 介護と介護事業の両輪から
その人らしい暮らしと人生を応援する
- ◎ 「介護はいい仕事だな」と思える専門職を
「介護事業はいい事業だな」と思える経営者を
将来にわたり1人でも多くする

■ ビジョン（理想の未来）

- ◎ ケアする人がケアされる循環が当たり前の世界
- ◎ 人同士がお互いに学びあい、気持ちよく支えあう世界
- ◎ 誰もが「いい人生だなあ」と思える世界
- ◎ 2065年、天晴れ介護サービス50周年（約90歳）には
みんな元気&笑顔で、超高齢社会のピークを乗り切る

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

6

天晴れ介護サービスの ミッション・ビジョン・バリュー（MVV）

■バリュー（提供する価値）

- ◎介護領域のリーダー＆パートナーとして、
国内外から必要とされる存在になる
（そうだ、天晴れさんに聞いてみよう！）
- ◎ケアする人がケアされる循環型社会
人が力を発揮して成果を上げる組織や仕組みを作るための
知恵を体系化&インフラ化し、自らも実践・率先垂範する
（困ったら天晴れさんを見てみよう！）
- ◎介護と介護事業のプロと言える法人・人材を
将来に渡って輩出する
（天晴れだからこそできる仕事！）

「天晴れ」の由来 → → →



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

7

天晴れ介護サービスの ミッション・ビジョン・バリュー（MVV） AIによる解説音声



<https://drive.google.com/file/d/1oWsFINOzBWZi6O7X3zYUKXGOMX7Nz6xZ/view>

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

8

制度改正 速報&解説セミナー動画

好評開催中!アーカイブ動画もあります!必見です!!!

今だけ無料 第9年度介護保険制度改正・報酬改定
速報&解説セミナーのご案内

厚労省の資料を読むのが苦手... 分量が膨大すぎて追いつけない...

そんな方におすすめです!!!
セミナー動画を見てから資料を読むと、格段に読みやすくなります!
是非ご活用下さいませ。また、職場の研修等でもお役立て下さいませ。



参加者さんから頂いたご感想です

- 自分で資料を読むのは辛いので、毎回、**要点を整理して分かりやすく解説**してくれて本当に助かります!
(女性、40代、管理者)
- 今回の改定は、本セミナーをずっと受けているので流れがよく分かり、**いつもより不安が少ない**です。
(女性、40代、経営者)
- 経営や現場のこともよく分かっている講師の解説なので、事業計画や現場の**実践に役立つ内容が多い**です。
(男性、50代、本部)
- 大変勉強になりました。**無料ではもったいない**くらいです。
(男性、60代、経営者)
- ものすごく整理できました**。ありがとうございます。
(50代、男性、経営者)
- こうして見ると、このライブは**業務の振り返り**でもあるので**毎回勉強になります**。引き続き追っかけていきたいと思います。(30代、男性、介護職員)

■以下3本必見です!

- ・介護保険部会まとめ
- ・補助金&処遇改善加算
- ・職場環境等要件詳細

■さらに!

ご登録頂いた方には
「運営指導対策セミナー
動画(通常有料)
プレゼント中!

11

2026年6月「IITOPIX」

介護保険法などの改正案、参院厚労委で可決 今国会で成立
SS、審議会で各種加算の要件緩和を求める 送迎加算の引き上げも
通所介護入浴介助加算、算定率1割前後 見直しを求める声噴出
通所介護の送迎、報酬の支援を求める声相次ぐ 自治体も問題提起
訪問介護、併設型など事業形態ごとの経営状況を把握へ

小多機や認知症GH、厳しい経営環境に危機感
介護給付費分科会が示すサービスごとの「現状と課題」「論点」
介護報酬、12%引上げ要請 介護職賃金を2030年までに全産業平均へ
埼玉ケアマネ殺害、厚労省が安全確保の徹底を呼びかけ
ケアマネ法定研修「復職のための簡素な手続きに」

テクノロジー活用、最適解は「地道に泥臭く」カギを握る対話の力

2026年7月 「I4TOPIX」

骨太方針に「他職種と遜色のない処遇改善の実現」を明記
新類型「登録施設介護支援」、既存居宅は新規指定手続き不要
「特定地域」厚労省が基準素案 約2割の市町村が全域該当
過疎地の介護体制 人員配置基準の弾力化へ議論本格化
特養・老健の基本報酬「異次元の増額を」審議会で要請

居宅介護支援の特定加算、重度者割合や24時間体制の要件緩和
居宅介護支援、基本報酬や処遇改善の引上げを求める声相次ぐ
訪問介護、地域型と併設型のメリハリ検討
高市首相、現役世代の保険料引き下げ明言
政府、家事支援の国家資格を新設 成長戦略を閣議決定

福祉施設建設費が過去最高 特養の平米単価44万円超
ケアマネの再研修、廃止で大幅スリム化へ
障害福祉の生産性向上、来年度改定へ
SOMPOケア、介護職の「5連休制度」が定着

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

13

骨太方針に「他職種と遜色のない処遇改善の実現」を明記

※介護のニュースサイトJOINT参照

政府は21日、今年度の「骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針2026）」を閣議決定した。今後の社会保障制度改革をめぐり、来年度の介護報酬改定の基本的な考え方も打ち出している。

「他職種と遜色のない処遇改善の実現を図る」と明記。必要な人材の確保・定着に向けて、引き続き介護従事者の賃上げを施策の柱に位置付ける意向を明確にした。政府はあわせて、「物価の変動に適切に対応する」とも書き込んだ。目下のインフレ基調、サービス提供コストの膨張を考慮した措置をとる構えをみせている。

より具体的な議論は、今秋から今年末にかけて本格的に進めていく計画。介護従事者の賃上げや事業所・施設の支援策で十分な規模の手を打てるのか、政府の実行力が試されることになりそうだ。

このほか、政府は介護費のいたずらな膨張を防ぐ施策の必要性も指摘。「現役世代の保険料の上昇を止め、引き下げていくことを目指す」との方針を掲げた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

14

新類型「登録施設介護支援」、既存居宅は新規指定手続き不要

※介護のニュースサイトJOINT参照

住宅型有料老人ホームの入居者に特化したケアマネジメントの新類型「登録施設介護支援」について、厚生労働省は、既存の居宅介護支援事業所が指定を円滑に受けられるように経過措置を設ける方針だ。

当面の間、居宅介護支援の指定を受けている事業所を「登録施設介護支援」の事業所とみなす取り扱いとする。既存の居宅介護支援事業所であれば、制度の施行からしばらくは新類型の新規指定を受けるための申請手続きは不要で、自動的に“2枚看板”となれる（例外規定もあり）。厚労省は15日、自治体の担当者に介護保険の重要施策を説明する会議（全国介護保険担当課長会議）でアナウンスした。

この「登録施設介護支援」は、6月19日に成立した改正法に基づいて創設されるケアマネジメントの新たなサービス類型。厚労省は改正法の附則に、既存の居宅介護支援事業所が住宅型ホームの入居者の支援を継続しやすいように、こうした経過措置の適用を盛り込んでいた経緯がある。居宅介護支援の指定が失効・取り消し、または効力停止となった事業所は、「登録施設介護支援」の指定も同様の取り扱いとなる。居宅介護支援としての指定がなく、新たに「登録施設介護支援」の新規指定を受ける事業所は申請手続きが必要だ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

15

「特定地域」厚労省が基準素案 約2割の市町村が全域該当

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は中山間・人口減少地域で介護の提供体制を維持するため、利用者が少ないなど必要性が高い「特定地域」に限ってサービスの運営ルールの弾力化を認める方針だ。その「特定地域」を具体的にどう設定するべきか――。29日の審議会（社会保障審議会・介護保険部会）で、国が定める基準の素案を明らかにした。

厚労省は素案で、75歳以上の高齢者の人口密度などに着目して基準を設定する考えを示した。これが適用されれば、少なくとも全国の20.5%にあたる356市町村で、その全域が該当することになる（*）とも説明した。

* 全域ではなく一部の地域が該当する市町村もある。

こうした「特定地域」の設定は、今国会で6月19日に成立した改正介護保険法などに盛り込まれた新しいスキーム。来年度からの施行が予定されている。

介護ニーズの縮小や人手不足が顕著な中山間・人口減少地域でサービスを維持できるよう、現場の実情に合ったより効率的な体制の整備につなげるのが狙い。実際にどの地域を「特定地域」に位置付けるかは、都道府県が国の基準に基づき、市町村の意向も確認して判断していく。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

16

「特定地域」厚労省が基準素案 約2割の市町村が全域該当

「特定地域」に位置付けられると、例えば事業所・施設の人員配置基準の弾力化が認められる。また、市町村がサービスを給付ではなく事業として実施できる仕組みを設けたり、訪問介護の経営の安定化に向けて月々の定額報酬（包括評価）を導入したりすることも可能となる。

厚労省は基準の素案で、現行の「特別地域加算」や「離島等相当サービス」の対象地域を「特定地域」に位置付ける意向を示した。それ以外の地域については、市町村単位の基準として、

- 75歳以上の人口密度が5人／km²未満
 - 75歳以上の人口が1000人未満かつ減少している
- のいずれかを満たすことを求めているとした。

さらに、こうした市町村単位の基準に該当しないケースであっても、一部の地域が上記の基準を満たしていれば、行政区単位、日常生活圏域単位などで「特定地域」に指定できるようにすることも提案した。あわせて、訪問介護や通所介護といった特定のサービス類型の事業所が存在しない、または非常に少なく撤退が検討されているなど、サービスの維持が困難な地域を対象に加えられるようにする意向も示した。

過疎地の介護体制 人員配置基準の弾力化へ議論本格化

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は23日、来年度の介護報酬改定に向けた協議を進めている審議会（社会保障審議会・介護給付費分科会）で、中山間・人口減少地域に特化した「特定地域サービス（＊）」の制度づくりの議論を開始した。

＊ 特定地域サービス＝今年の通常国会で6月に成立した改正法にもとづく新たなスキーム。中山間・人口減少地域に限って、事業所・施設の運営ルールの弾力化などを認める仕組みで、必要な介護サービス提供体制の維持につなげる狙いがある。

大きな焦点となるのが、深刻な人手不足を踏まえた人員配置基準の弾力化の行方だ。今回、厚労省は想定される論点を提示。ICTの活用や事業所間・施設間の連携を大前提として、管理者や専門職の常勤・専従要件の緩和、兼務の拡大などを検討していく方針を示した。また、施設の見守り機器の活用状況などを勘案しつつ、夜間の人員配置基準の緩和も狙上に載せると説明した。

このほか、人員配置基準の緩和にあたってサービスの質を担保するため、自治体の職員やケアマネジャーらの「外部の目」が入る仕組みを整備する構えもみせた。

過疎地の介護体制 人員配置基準の弾力化へ議論本格化

会合では委員から、厚労省のこうした議論の方向性に理解を示す声があがった。同一敷地内での人員の合算やタスクシフトの推進など、より踏み込んだ手を打つよう促す意見も出た。

- 一方、サービスの質の低下など現場への悪影響を懸念する委員もいた。例えば、
- 「人員配置基準の弾力化は、事業所・施設や自治体の人材確保の努力を損ねる結果を招きかねない」
 - 「夜間帯の緩和は、利用者の安全と職員の負担軽減の観点から慎重に対応すべき」
 - 「人員配置基準の緩和によって現場の負担が重くなれば、さらなる人材流出を招く悪循環を生みかねない」
 - 「人員配置基準の緩和は対症療法。誰もが安心して働き続けられる環境の整備と一体的に進めるべき」
- といった声が噴出した。

今後、厚労省は年末に向けて具体策の検討を深めていく方針。人員配置基準の弾力化と、サービスの質の担保や職員の負担軽減などをどう両立させていくか――。そのバランスが大きな焦点となりそうだ。

特養・老健の基本報酬「異次元の増額を」審議会で要請

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は9日、来年度の介護報酬改定に向けた協議を進めている審議会（社会保障審議会・介護給付費分科会）を開催し、特別養護老人ホームや介護老人保健施設を取り上げた。共通の論点として、「安定的にサービスを提供するための方策」を提示。現場の関係者からは、現下の厳しい経営環境を踏まえて基本報酬の引き上げなどを求める声が続出した。

「物価高騰などで施設の運営コストは増大する一方だ。地域のインフラとしての役割を果たしていくためには、基本報酬の大幅な底上げが必要不可欠」

全国老人福祉施設協議会の小泉立志副会長はこう訴えた。厚労省の昨年度の調査結果で利益率をみると、特養は1.4%、老健は0.6%。全サービス平均の4.7%を大幅に下回っている。

全国老人保健施設協会の東憲太郎会長は、こうした実態を踏まえ「基本報酬の大幅な引き上げが必須」と主張。日本医師会の江澤和彦常任理事も、「多くの施設が赤字経営となっている。基本報酬の異次元の増額が不可欠」と強調した。会合ではこのほか、自治体の立場を代表する委員からも特養や老健の経営的な支援を要請する意見が相次いだ。また、現場の生産性向上のさらなる推進などとあわせて、メリハリのある施策を検討すべきと促す委員もいた。

居宅介護支援の特定加算、重度者割合や24時間体制の要件緩和

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は6月29日、来年度の介護報酬改定に向けた協議を進めている審議会（社会保障審議会・介護給付費分科会）で居宅介護支援を取り上げた。会合では委員から、質の高いケアマネジメントを実践する体制を評価する「特定事業所加算」をめぐり、算定要件の見直しを求める声が相次いだ。

まずは最上位の「加算Ⅰ」。厚労省のデータによると、事業所ベースの算定率は昨年11月の審査分で1.71%にとどまっている。全国老人福祉施設協議会の小泉立志副会長は、「算定率が極めて低い最大の要因は、要介護3以上の利用者が40%以上という算定要件にある」と問題を提起。「実態に即した算定要件の緩和が必須」と主張した。日本医師会の江澤和彦常任理事も同じ算定要件に言及。「加算Ⅰ」を算定するために要介護1、2の高齢者を敬遠する事業所が増える懸念もあるとして、「見直していく必要がある」と促した。

日本介護支援専門員協会の濱田和則副会長は、24時間の連絡体制の確保を求める「加算Ⅰ」から「加算Ⅲ」の算定要件の緩和を求めた。ケアマネジャーの負担軽減につながる観点から、携帯電話などを持って勤務時間外でも対応する運用の改善を要請。「併設の関連施設でいったん受け付けたり、オンコールの代行事業者による対応を認めたりするなど、働く環境の改善へ向けて緩和の検討を」と呼びかけた。

21

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

居宅介護支援、基本報酬や処遇改善の引上げを求める声相次ぐ

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は29日、来年度の介護報酬改定に向けた協議を進めている審議会（社会保障審議会・介護給付費分科会）で居宅介護支援を取り上げた。深刻化の一途をたどる人材不足など厳しい経営環境が続くなか、委員からは居宅介護支援の基本報酬の引き上げや処遇改善加算の拡充を求める意見が相次いだ。

厚労省は会合で、「ケアマネジャーの役割の重要性が増大している一方で担い手不足が見込まれる」と説明。今後の論点として、「ケアマネジャーがその専門性を十分に発揮し、それぞれの地域の実情に応じて必要なケアマネジメントの提供体制を確保していくための方策」を提示した。

意見交換の中では、日本介護支援専門員協会の濱田和則副会長が、足元の人材難・経営難を踏まえ「基本報酬の引き上げが必要」と主張。ケアマネジャーの賃上げを前へ進めるため、「処遇改善加算の拡充も必要」と訴えた。続けて、連合の平山春樹総合政策推進局生活福祉局長は、人材確保も含めて「事業所を安定的に運営できる報酬が必要」と強調。「細かな加算ではなく基本報酬で評価されるべき」と注文した。日本医師会の江澤和彦常任理事も、「ケアマネジャーの人材不足はやはり深刻。基本報酬自体を引き上げる必要がある」と同調した。

22

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

居宅介護支援、基本報酬や処遇改善の引上げを求める声相次ぐ

※介護のニュースサイトJOINT参照

このほか、賃上げ以外のケアマネジャーの処遇改善も進めるよう促す声も目立った。

高齢社会をよくする女性の会の石田路子副理事長は、資格の更新制を廃止した後も一定の研修の受講が義務付けられることについて、「本当にこのままでいいのか。人材不足が解消されるのか疑問だ」と問題を提起した。また、複数の委員がケアマネジャーをカスタマーハラスメントから守る対策の強化を呼びかけた。

一方、全国老人保健施設協会の東憲太郎会長は、「居宅介護支援についても、集合住宅に関係する事業所と一般的な事業所とを分けて経営状況を示してほしい」と要請。事業所の運営モデルの違いを考慮して検討をきめ細かく進めるよう求めた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

23

訪問介護、地域型と併設型のメリハリ検討

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は29日、来年度の介護報酬改定に向けた協議を進めている審議会（社会保障審議会・介護給付費分科会）で訪問介護の論点を提示した。事業所によってサービスの運営モデルが大きく異なるなか、その立地や規模、事業形態といった個々の特性に着目して検討を進める方針を打ち出した。

厚労省の昨年度の「経営概況調査」によると、訪問介護の収支差率は9.6%。全サービス平均の4.7%を大きく上回った。厚労省はこうしたデータを念頭に、「訪問介護の経営状況は事業所の立地、規模、事業形態によって様々」と指摘。全国平均の収支差率だけで現状を捉えず、「事業所の特性を踏まえて検討を進めることが必要」との認識を示した。都市部と地方の環境の違いに加え、集合住宅に併設されている事業所と地域の利用者宅を一軒一軒訪ねる事業所とで、採算性が大きく異なることなどが念頭にある。会合では、こうした厚労省の方向性に賛意を表する委員が多かった。

全国老人福祉施設協議会の小泉立志副会長は、「小規模な事業所や在宅ベースの事業所の運営は限界に達している」と問題を提起。大分県中津市の奥塚正典市長は、「全国平均の収支差率だけで判断することなく、中山間地域の特性を十分に考慮した報酬体系の検討をお願いしたい」と呼びかけた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

24

訪問介護、地域型と併設型のメリハリ検討

※介護のニュースサイトJOINT参照

一方、集合住宅に併設されている事業所の介護報酬の適正化を求める委員もいた。

健康保険組合連合会の伊藤悦郎常務理事が「適正化・重点化の観点からメリハリを」と訴えたほか、全国健康保険協会の鳥潟美夏子理事は「集合住宅への訪問の手間などを踏まえ、公平な評価のあり方を検討していくべき」と踏み込んだ。

また、日本介護支援専門員協会の濱田和則副会長は、既存の同一建物減算を回避する運営モデルの「精査が必要」と促した。今後、地域の利用者宅を回ってサービス基盤を支えている事業所への支援策と併せて、集合住宅に併設されている事業所へのメスがどこまで入るかも焦点となりそうだ。

高市首相、現役世代の保険料引き下げ明言

※介護のニュースサイトJOINT参照

25日に特別国会が閉会したことを受けて、高市早苗首相は27日に総理大臣官邸で記者会見を行った。

今後の社会保障制度の改革をめぐり、「現役世代の保険料率の上昇を止め、引き下げていく」と改めて明言。「給付と負担の改革努力を継続するべく、今年度内に改革の具体化と工程の明確化を図っていく」との意向を表明した。

政府は7月21日に閣議決定した今年の「骨太の方針」に、こうした考え方を盛り込んでいた経緯がある。今後、例えば高齢者に支払いを求める自己負担の引き上げの是非など、医療・介護の給付費を抑える施策のあり方が大きな焦点となりそうだ。

このほか、高市首相は記者会見で飲食料品の消費税率の引き下げについて、「国民会議での早期の取りまとめに期待する。結論を得た上で速やかに法案を提出し、国民に負担軽減の効果をできる限り早く実感していただけるようにしたい」と述べた。

政府、家事支援の国家資格を新設 成長戦略を閣議決定

※介護のニュースサイトJOINT参照

政府は21日、高市早苗政権で初めて策定した成長戦略（日本成長戦略）を閣議決定した。現役世代が介護や子育てで仕事を辞めざるを得ない状況に追い込まれるのを防ぐため、家事支援サービスの国家資格を新たに創設する構想を盛り込んだ。来年秋を目途に第1回の国家試験を実施できるよう、関係審議会での議論や試験問題の作成、試行試験の実施など必要な準備を進める方針を打ち出した。

介護や子育てによる離職を減らし、新たな成長戦略の重点分野などを支える労働力の確保につなげる狙いがある。親族の介護などを理由とする離職は、年間およそ11万人。今なお増加傾向にあり、ビジネスケアラーを支える対策の強化は急務だ。

政府は今回の成長戦略に、技能検定の枠組みで複数等級の国家資格を新設すると明記。家事支援サービスの品質の向上と信頼性の確保を図り、その普及・浸透につなげたい考えを示した。

あわせて、家事支援サービスの利用促進に向けて「税制措置を含む新たな支援策を検討する」とも書き込んだ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

27

政府、家事支援の国家資格を新設 成長戦略を閣議決定

こうした政府の方針に対し、介護現場の関係者の受け止めは複雑だ。期待と懸念が交錯し、戸惑いや疑問の声も上がっている。全国の介護職員らで組織する日本介護クラフトユニオン（NCCU）の村上久美子副会長は、「新たな国家資格の創設自体は否定しない」としつつ、「介護離職の主因は家事支援の不足ではなく、直接的なケアの不足とそれに伴う家族の過重負担だ。離職を防ぐ施策としては実効性を欠く」と指摘。「既存のヘルパーの処遇改善や人材確保など、在宅介護の基盤強化を優先すべき」と主張した。

また、「全額自費の家事支援サービスを使えるのは、経済的にゆとりのある世帯だけ。多くの世帯は十分に使えない懸念がある」と問題を提起。「要介護1、2の生活援助などを介護給付から外す制度改正につながる恐れもあり、今後の動きを警戒すべき」と述べた。一方、在宅介護の保険外サービスなどを展開するイチロウ株式会社の水野友喜代表取締役は、「新たな国家資格の創設を歓迎する。質が担保された保険外サービスを社会に浸透させる追い風になる」との認識を示した。

そのうえで、「現時点では懸念点も多い。例えば、既存の初任者研修との違い、担う業務の範囲、役割分担などが曖昧なままでは、利用者にも働き手にも混乱を与える。事業者にとっては、各資格の格付けや給与水準の高低なども分かりにくい」と指摘。「何より重要なのは、保険内・外の相互補完的で調和のとれた共存だ。制度の歪みや矛盾、関係者の分断などを生まないように、全体像の丁寧な整理と設計を求めたい」と述べた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

28

福祉施設建設費が過去最高 特養の平米単価44万円超

※介護のニュースサイトJOINT参照

福祉医療機構（WAM）は22日、昨年度の福祉施設の建設費について新たな調査結果を公表した。特別養護老人ホームや保育所などの平米単価が、調査開始以降の最高額を記録したことが分かった。この調査は、WAMが毎年度、融資先のデータを用いて福祉施設の建設費などの動向をまとめているもの。

今回の調査結果によると、特養（ユニット型）の平米単価は前年度比14.2%増の44万3千円に高騰した。また、保育所と認定こども園の平米単価も同15.8%増の54万7千円に達し、いずれも過去最高額を大きく更新している。長引く資材や人件費の高騰などが影響しているとみられる。WAMは今回のレポートの中で、「建設費を取り巻く環境は厳しさを増している」と分析した。

一方、特養の定員1人当たりの延床面積をみると、全国平均で42.0平米と前年度から減少した。平米単価が跳ね上がるなか、施設側が延床面積を抑制して全体の費用を抑えようとする動きが出ている可能性もある。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

29

ケアマネの再研修、廃止で大幅スリム化へ

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は15日、ケアマネジャー資格の更新制の廃止に伴って既存の再研修を刷新する構想について、時間数を現行から大幅に削減する方針を明示した。既存の再研修は廃止し、カリキュラムをスリム化したうえで作り直す。一部を復職後に受けられるようにすることも検討する。

自治体の担当者に介護保険の重要施策を説明する会議（全国介護保険担当課長会議）で明らかにした。ケアマネジャーの確保、復職しやすい環境の整備が狙い。

厚労省は新たな研修の目的を、離職後の制度の変更点など必要な知識のアップデートに特化させる。オンライン・オンデマンドの柔軟な受講を可能とし、「円滑な復職のための簡素な研修」とする考えだ。

6月19日に成立した改正法をめぐる国会審議で、厚労省は現行の再研修の廃止に踏み切る意向を示していた。今後は関係団体や有識者の意見を踏まえて詳細を詰め、年内を目途に具体的な見直しの方向性を示す計画だ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

30

障害福祉の生産性向上、来年度改定へ

※介護のニュースサイトJOINT参照

厚生労働省は28日、障害福祉の現場で生産性向上を推進する方策を話し合う検討会の初会合を開いた。

障害福祉の分野に特化した「生産性向上ガイドライン」を新たに策定する計画を明らかにした。来年度の報酬改定を念頭に、生産性向上の取り組みや成果などを評価する仕組みを検討していく方針も打ち出した。

障害福祉の分野では、生産性向上の基本的な考え方が昨年度に定められている。「支援者一人ひとりの力を引き出し、チームでその力を利用者に届けることで、新たな価値を生み出すこと」これが取り組みの目的で、サービスの画一化やコストカット、人員削減などを目指すものでは決していない。

厚労省はこうした理念に基づき、当事者の視点に立ったケアの充実につなげるために、あわせて、業務の効率化や職員の負担軽減、人材の確保・定着などを実現する観点から、新たにガイドライン（共通編と類型別）を策定する考えを示した。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

31

SOMPOケア、介護職の「5連休制度」が定着

※介護のニュースサイトJOINT参照

業界最大手のSOMPOケアは、勤続5年以上の介護職員らを対象とした「5連休制度」の導入・定着など、介護現場の働く環境の改善に力を入れている。

5連休の取得率はすでに8割弱。一連の施策が奏功し、離職率は11%台と低い水準を維持している。鷲見隆充代表取締役社長がインタビューで明らかにした。

国内の人手不足が深刻化の一途をたどり、業界の枠を超えた横断的な人材獲得競争が熾烈を極めるなか、介護現場の採用環境も厳しさを増している。鷲見社長は、「正直に言って採用は非常に厳しい。新卒も中途も確保が難しくなり、採用コストも上がった。給与が高い他のサービス産業へ人材が流れている面もある」との認識を示した。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

32

SOMPOケア、介護職の「5連休制度」が定着

SOMPOケアは今年度から、介護職員らに新たな人材を紹介・推薦してもらう「全員リクルーター制度」も強化した。

採用や定着といった成果に応じたインセンティブの付与などを推進するほか、「今すぐ働くかどうか分からない」「まずは職場の雰囲気を知りたい」という求職者のために、体験型のスポットワークを新たに導入。鷺見社長は、「全員で仲間を増やしていこうと声をかけている。地域に開かれた透明性の高い事業所・施設をつくり、一緒に働きたいと言ってくれる人を増やしたい」と意欲をみせた。

SOMPOケアはこのほか、継続的な処遇改善や人事制度の改定、教育体制の充実、外国人材の受け入れなどにも注力。総合的なアプローチで持続可能な人員体制の構築を目指す方針だ。

2026年7月 「I4TOPIX」

骨太方針に「他職種と遜色のない処遇改善の実現」を明記
新類型「登録施設介護支援」、既存居宅は新規指定手続き不要
「特定地域」厚労省が基準素案 約2割の市町村が全域該当
過疎地の介護体制 人員配置基準の弾力化へ議論本格化
特養・老健の基本報酬「異次元の増額を」審議会で要請

居宅介護支援の特定加算、重度者割合や24時間体制の要件緩和
居宅介護支援、基本報酬や処遇改善の引上げを求める声相次ぐ
訪問介護、地域型と併設型のメリハリ検討
高市首相、現役世代の保険料引き下げ明言
政府、家事支援の国家資格を新設 成長戦略を閣議決定

福祉施設建設費が過去最高 特養の平米単価44万円超
ケアマネの再研修、廃止で大幅スリム化へ
障害福祉の生産性向上、来年度改定へ
SOMPOケア、介護職の「5連休制度」が定着

A I ケアプランについて



<https://www.appare-kaigo.jp/I770673072I783>

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

35

導入法人様より

昨日アカウントが付与された「●●●」

賢い！早い！すごい！と、居宅の所長が、私の部屋に駆けつけてくれました
榊原先生のおかげです！早くお礼を！！って急かされて、今（笑）

「嬉しい」って言葉が何度も出てきましたし、
「ケアプランが、今までよりも更に良くなる」って
サービス担当者会議の作成ツールも早速試してみたいと張り切っています。

まずは、手を動かして、実際に触ってみたいことには
何も前に進まない！って、居宅のメンバー、みんなとても前向きです
先生、本当にありがとうございます

施設用も、後日オンラインデモを実施していただくことになりました
特養とグループホームへの試験導入を前提に
部長をチームリーダーに任命しました。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

36

面談等のトレーニングアプリ「けあトーク」

<https://www.appare-kaigo.jp/17663698166198>

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

37

2026年7月 「I4TOPIX」

骨太方針に「他職種と遜色のない処遇改善の実現」を明記
新類型「登録施設介護支援」、既存居宅は新規指定手続き不要
「特定地域」厚労省が基準素案 約2割の市町村が全域該当
過疎地の介護体制 人員配置基準の弾力化へ議論本格化
特養・老健の基本報酬「異次元の増額を」審議会で要請

居宅介護支援の特定加算、重度者割合や24時間体制の要件緩和
居宅介護支援、基本報酬や処遇改善の引上げを求める声相次ぐ
訪問介護、地域型と併設型のメリハリ検討
高市首相、現役世代の保険料引き下げ明言
政府、家事支援の国家資格を新設 成長戦略を閣議決定

福祉施設建設費が過去最高 特養の平米単価44万円超
ケアマネの再研修、廃止で大幅スリム化へ
障害福祉の生産性向上、来年度改定へ
SOMPOケア、介護職の「5連休制度」が定着

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

38

マンスリージャーナルについて

■法令や制度が苦手（好きでない）な方へ

マンスリー・ジャーナル「月刊介護ニュースダイジェスト」

■信じてもらえないかもしれませんが……

私も法令や制度、そして最新情報については
苦手ですし、あまり好きでないですし、
正直、あまり興味もないのです（笑）

■ただ、そうも言ってもらえない立場なので……

毎週のメルマガに加えて、毎月話す機会を作ってしまう
法令や制度、最新情報に触れる機会を作ろうと思って始めたのが
このマンスリー・ジャーナルです

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

39

継続的な学習の重要性！

■成長のために

- ・ ギャップを埋める & 強みを活かす
- ・ 時間とエネルギーをかけた分だけ成長する
- ・ よい情報を浴び続ける、そういう 環境に身を置く
- ・ 成長は螺旋階段、その時々で 受け取るものも違う
- ・ ミラーニューロン効果（思考・行動に影響、時間差で効果！）、感度が高まる
- ・ 知れば知るほど分からないことが増える、知りたいことが増える
- ・ 学びが理想をつくり、理想が学びを生む

■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ 定期的に軌道修正させてくれる、人・環境の存在が必要

■自分自身、そしてチームワーク

- ・ シャンパンタワー：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ 研修はチームで参加、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

40

継続的な学習の機会を持つために



影響力・インパクト



回数・頻度



$$\text{習慣化} = \text{インパクト} \times \text{回数}$$

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

41

介護現場をよくするライブラリー

ACS 介護現場をよくするライブラリー



会員ログイン

キーワードで探す



経営から現場まで！介護と介護事業を守り、よくする「教育インフラ」リーダーズ・プログラム

初めての方へ



2週間体験利用 受付中！
詳しくはこちら

お知らせ お知らせ一覧

セミナー

【おススメ！セミナー動画】介護現場をよくする21のテーマ！
ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」

【おススメ！セミナー動画】のご案内です。介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」～事業・サービスの継続・発展のために～https://appare-kaigo...

セミナー案内 セミナーをもっと見る

4月16日 (火) 14:00～16:00 管理職養成2024 管理職 リーダー 本部 管理者	4月17日 (水) 14:00～15:30 介護事業の教育インフラ！リーダーズ・プログラム 会員限定グループコンサルティ... 会員限定 リーダーズ・プログラム
---	--

日々更新中！公式サイト・SNS



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

42

介護と介護事業を守り、よくする！ 事業経営&教育インフラ リーダーズ・プログラム



主な動画
一覧

20時間 経営者・経営幹部向け セミナー	2025年度実施中 法人の中核を担う！ 中核職員養成講座	20時間 稼働率・サービス 改善コース	20時間 人材確保・育成・定着 コース
20時間 管理者・リーダー養成 ベーシックセミナー	20時間 生産性向上& 業務改善セミナー	20時間 介護と介護事業を守り、 よくする！21テーマ	20時間 ケアマネジャー・相談員の 「質の向上&省力化」 セミナー
20時間 天晴れ介護サービス式 法定研修シリーズ	10時間 新人職員向け セミナー	20時間 赤本・青本・緑本 通読セミナー	30時間 1日集中講座シリーズ 稼働、人材、管理職、 運営指導、ケアマネジメント等
10時間 令和6年度 介護報酬改定セミナー	30時間 マンスリー・ジャーナル 月刊介護ニュース ダイジェスト	20時間 工藤ゆみさんの コミュニケーション力 向上講座	20時間 進絵美さんの 面談スキル向上講座
20時間 吉村NSの 介護職のための 医療知識講座	6時間 山本先生の 労務知識講座	200時間 その他、ハラスメント、苦情対策、リスクマネジメント 科学的介護、BCP等のワンテーマ研修	

居宅・訪問系
地域密着デイ等
小規模事業者向け



上記以外の
法人様向け



個別コンサル
ティングを
ご希望の方



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

43

リーダーズ・プログラムの全体像

1 毎月10本程度のオンラインセミナー（アーカイブあり）

毎月、タイムリーでホットなテーマの研修等を実施します。研修終了後には質疑応答の時間もありますので、是非、リアルタイムでご参加下さいませ。会員法人の職員さんならどなたでも、PC、スマホからご参加頂けます。

2 経営から現場まで！全600本の動画コンテンツ （裏面に代表的な動画を掲載しました）

これまでのオンラインセミナーを収録した動画コンテンツが全て見放題になります！経営から現場まで、コンサルティングレベルの内容を学んで頂けます。もちろん、各種法定研修もこれで行って頂けますし、特定事業所加算算定要件の個別研修も実施しやすくなります。会員法人の職員さんなら、いつでもどなたでも、PC、スマホからご視聴頂けます。

3 毎月1回90分のQAグループコンサルティング

毎月1回、会員さん向けのグループコンサルティングを開催しています。質疑応答を中心としていますので、是非、ご質問を用意してご参加下さいませ。また、質問がない場合でも、他法人さんの取り組みなどを知る機会にもなります。参加者さんにはセミナーや動画とは違った学びや刺激があると、喜んで頂いています。

4 各種特典も多数あり！



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

44

研修・動画の内容 経営から現場まで600本以上！



お客様の声

研修・動画について

- はじめて研修が楽しいと思えました！
- 毎月のセミナーはホットな内容が多くありがたい！
月1回の職員研修で、みんなで集まって視聴しています。
- 動画は、特定事業所加算などの個別研修でも大活躍です。
- 研修資料や企画を一から作ることが難しかったので助かっています！
- 事前学習動画+対面研修の組み合わせは、非常に効果的で効率的です！
- (法定研修) 深掘りもされていて、新人からベテランまで、
全職員に聞かせたい内容だと思った。1コマが30分というのも受講しやすいと思った。
- (法定研修) これで運営指導対策について1つ安心できた。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

45

【NEW!】階層別研修パッケージ

法定&新人研修	管理者 リーダー向け	セレクト パック30 2026版	けあトーク 面談・説明 クレーム等 トレーニング アプリ
			※非売品
基礎研修35コマ	管理者・リーダー 基礎12コマ	基礎動画10本	通常は リーダーズ プログラム 会員のみ にご提供 する アプリです
新人研修パック	特典動画20本	毎年更新20本！	
6分野横断も		最新情報 毎月更新！	

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

46

介護と介護事業の両輪から、その人らしい暮らしと人生を応援する！
「学び」「共感」「モチベーション」をもたらす研修シリーズ

介護と介護事業を守り、よくする！
経営者の右腕として、法人の中核を担う人を作る！

経営人財養成講座2026

■「強く、熱いミッション」の実現と
「あたたかい組織づくり」に貢献する！

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

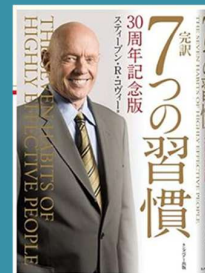
経営人財養成講座2026

日程：13時～17時半		内容
5月27日	第1回	経営人財とは、管理者との違いとは、経営者の右腕として
■前編「知識・ノウハウ編」		
6月23日	第2回	事業構造・稼働・サービス
7月29日	第3回	人材採用・育成・定着
8月20日	第4回	リスク・財務・法令
9月29日	第5回	組織・仕組み・労務
■後編「人を動かす編」		
10月28日	第6回	職員を知る、対話力、傾聴・理解・承認・指導
11月24日	第7回	仕事を任せる、役割分担
■まとめ編「計画作成」		
12月22日	第8回	計画作成
1月26日	第9回	計画発表
2月24日	第10回	フォローアップ

「7つの習慣」実践会（2026年度予定）

■ご参加頂くにあたって

- ・「7つの習慣(完訳版)」の書籍(紙)を用意し、該当箇所を読んでくる
- ・毎回お送りする「実践会テキスト(4ページ程度)」を事前に印刷しワークにも取り組んでくる
- ・毎回申込制、1回3,000円、6名程度想定、夜19時～22時
→どの回からでもご参加頂けます、間が空いても大丈夫です
繰り返し受講が超効果的！です
- ・zoom開催（カメラ・マイクON、できればPC、静かな環境で）
- ・原則・遅刻・早退なしで、終了後にアンケートをお願いします



4/5	第1回1つの習慣：1-46	10/18	第7回winwin：285-336
5/10	第2回7つの習慣：47-70	11/22	第8回理解に徹し：337-371
6/7	第3回主体的である：71-114	12/20	第9回理解される：371-380
7/19	第4回終わり描く：115-190	1/17	第10回シナジー：381-420
8/23	第5回最優先事項：191-250	2/21	第11回刃を研ぐ：421-473
9/20	第6回相互依存：251-284	3/21	第12回年間計画（書籍なし）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

49

制度改正 速報&解説セミナー動画

好評開催中！アーカイブ動画もあります！必見です！！

今だけ無料 第9年度介護保険制度改正・報酬改定
速報&解説セミナーのご案内

厚労省の資料を読むのが苦手… 分量が膨大すぎて追いつけない…

そんな方におすすめです！！
セミナー動画を見てから資料を読むと、格段に読みやすくなります！
是非ご活用下さいませ。また、職場の研修等でもお役立て下さいませ。



参加者さんから頂いた感想です

- 自分で資料を読むのは辛いので、毎回、**要点を整理して分かりやすく解説**してくれて本当に助かります！
(女性、40代、管理者)
- 今回の改定は、本セミナーをずっと受けているので流れがよく分かり、**いつもより不安が少なく**いです。
(女性、40代、経営者)
- 経営や現場のこともよく分かっている講師の解説なので、事業計画や現場の**実践に役立つ内容が多い**です。
(男性、50代、本部)
- 大変勉強になりました。**無料ではもったいない**くらいです。
(男性、60代、経営者)
- ものすごく整理できました**。ありがとうございます。
(50代、男性、経営者)
- こうして見ると、このライブは**業務の振り返り**でもあるので**毎回勉強になります**。引き続き追っかけていきたいと思います。(30代、男性、介護職員)

■以下3本必見です！

- ・介護保険部会まとめ
- ・補助金&処遇改善加算
- ・職場環境等要件詳細

■さらに！

ご登録頂いた方には
「運営指導対策セミナー
動画（通常有料）
プレゼント中！

50

Zoom
ウェビナー

参加費
無料

足と健康 オンラインサミット2026

歩ける未来は、足から始まる



taeco先生
mantarow_labo
代表



山口健一先生
爪と皮膚の診療所
形成外科・皮膚科 院長



高山かおる先生
一般社団法人
足育研究会 代表理事



榊原宏昌先生
天晴れ介護サービス
総合教育研究所株式会社
代表取締役



石川友迦
一般社団法人日本健美爪協会代表理事
キューアネイリストアカデミー学院長
キューアネイリスト®

2026
8/19 Wed.
19:00-22:00

医療 美容 介護 各分野の専門家が一夜に集結。
あなたと、あなたの大切な人の「足」を守る3時間

8月19日（水）
19時～22時



<https://contents.ichiguu.com/p/on-line-summit2026-opt?ftid=QJgrphGRvE8v>

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

51

【無料】創業10周年記念！ 介護と介護事業をよくする8分野連続セミナー

新人研修から業務効率化、稼働率向上、サービス改善、人材採用、事業計画まで幅広く扱いますが、いずれも経営力・組織力・マネジメントの視点からお話します

1. 新人研修
2. 職員育成
3. 管理者、リーダー育成
4. 経営人財の養成
5. 業務効率化の具体策
6. 稼働率・サービス改善
7. 人材採用・育成・定着
8. 事業計画の策定と運用

8月10日（月）開講！



8月から9月にかけて開催予定です。

<https://www.appare-kaigo.jp/8fields>

右のフォームよりご登録頂いた方に詳細をお送りしますので、
まずはご登録下さいませ。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

52

こちら是非ご覧くださいませ！

天晴れ介護サービス公式LINEに登録して
「お得情報」と「特典動画」「限定セミナー」を
手に入れる！

特典動画は「経営から現場まで！
介護事業の永続的な成功を実現する3つの取り組み」
「毎月の介護NEWSダイジェスト」もプレゼント！

天晴れ介護サービスYouTubeチャンネルに
登録して「無料動画」で楽しく学習する！

約900本の動画+数分のショート動画もあります！
気軽に学ぶには最適です！
朝LIVEはYouTubeからでもご覧頂けます（^^）

榊原のfacebookを見て
毎朝5:55のLIVE配信（アーカイブあり）を
視聴する！

朝LIVEに加えて、毎日何らかの情報を発信中です！
「ブログ」とともに、日々のモチベーション維持に
お役立て下さいませ

天晴れ介護サービス公式メルマガに登録して
「最新情報」と「特典動画」を手に入れる！

毎週4,000字の情報+特典動画！
特典動画は、毎月「通常は有料」で配信している動画を
期間限定で配信しています（^^）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

53

マンスリー・ジャーナル

■次回は

8月20日（木）21時～

※セミナーカレンダーで

年間予定公開中！

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

54

ご清聴ありがとうございました！
また次回、ご参加下さいませ(^^)/



天晴れ介護サービス総合教育研究所

榊原 宏昌